

菅生交流

川崎市立菅生中学校
学校通信 第273号
(2024年度 第3号)
令和6年5月27日

大きな飛躍の予感

校長 山本 篤

5月は行事が目白押しです。まずは体育祭、コロナ禍により大きな制約を受けながらも、様々な工夫と努力で乗り切ってきたこれまでの4年間、そこから学び教訓を活かした新しいスタイルの第52回体育祭は、とても洗練されたものとなりました。ブロック対抗を盛り上げるパネルには漢字一文字が入り、デザインに込められたメッセージをより強いものにしました。また、応援も更に工夫が凝らされ質の高いものとなりました。各学年のダンスは、自由闊達さに華やかさが加わり、自分達で作上げたという自信が、満面の笑顔によく表れていました。体育祭が大成功に終わったのは、体育祭実行委員会、各係、各リーダー、それに PTA 役員や地域の方々、様々な面で支えてくれた人たちの存在を忘れてはなりません。本当に感謝です。

今回は、これまでの反省や意見を活かす事にも重点を置き、観客の皆様へ生徒たちの競技をより一層見易いように観客席の範囲を広げ、トラックの位置をテニスコート寄りにすらしめました。今後、更に良い体育祭にしていくため努力してまいります。

体育祭と並行して次の行事の準備も進められていました。3年生の修学旅行と1・2年生の校外学習です。特に修学旅行は、2泊3日を奈良・京都で過ごすため、拝観場所の調査、電車・バスの座席、係とルール決め、コースの設定、しおりの作成等と準備に余念がありませんでした。終わってみれば、準備がしっかりできていたこともあって、思い出深い楽しい修学旅行になりました。1・2年生の校外学習も同様で、それぞれに学年・クラスの輪や信頼が深まったようです。

これらの行事を通して感じたことは、生徒たちのそれぞれの行事に向き合う真摯な姿勢と、自分たちで作上げるのだという心意気が強く伝わってきたことです。だからこそ、心に響く素晴らしいものが出来上がったのだと確信しています。これができる生徒たち、その生徒たちを指導し育ててきた先生方がいる菅生中、何か大きな飛躍を予感させます。今後が楽しみでなりません。

「相談室」

菅生中学校には、様々なことでお困りの時に、生徒の皆さんや保護者の方が利用できる「相談室」があります。スクールカウンセラー（SC）がお話を聞きサポートさせていただきます。お気軽にご利用ください。

スクールカウンセラー（SC）：越水三佐子（公認心理師・臨床心理士）

※毎週火曜日 9:00～17:00 直通電話 044-976-6657

6月の予定・・・4日、11日、18日、25日



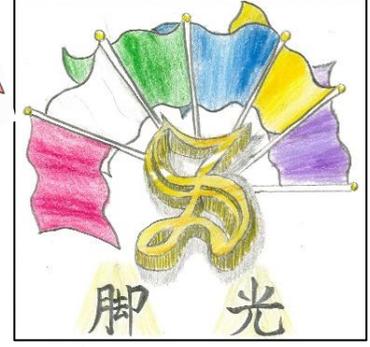
すべての生徒が輝いた 第52回体育祭

今年の体育祭期間はなかなか天気に恵まれず、雨の中での練習が続きました。そしてむかえた本番は、これまでの雨がうそのような晴天！輝く太陽から放たれる光はすべての生徒を照らす「脚光」のようでした。この一週間の体育祭練習では、うまくいかず、頭を悩ませた日もあったことと思います。しかし、本番の「うまくいった！」「やりきった！」という生徒たちの嬉しそうな顔。一人一人が試行錯誤して成長することができた最高の瞬間だったと思います。

ブロック応援では、今年度より各ブロックでテーマを設定し、そのテーマに沿って工夫をこらした応援を作りあげました。ブロック一丸となって合わせた動きや、気迫あふれる演技に、観客席から大きな拍手がおこりました。

競技している仲間を大きな声で応援していたり、競技が終わって戻ってきた仲間に「おつかれさま！」と口々に声をかけたりしている姿もとても素晴らしかったです。どんな場面でも一生懸命仲間を応援し、一生懸命競技に取り組むみなさんの姿を見て、菅生中生の素直さやあたたかさをあらためて実感しました。

毎日朝早くから準備をしてくれた体育祭実行委員、繊細かつ迫力のあふれるパネル製作をしたパネルリーダー、観客を魅了するダンスを完成させたダンスリーダー、どんなときも全体を見通して動き、ブロックをまとめた応援リーダー、そして毎日の練習に一生懸命取り組んだ全校生徒一人一人に脚光が当たったすばらしい体育祭となりました。



シンボルマーク(3-1 高橋紘都さん)



ポスター(2-1 近岡雫さん・柏崎雪音さん)

